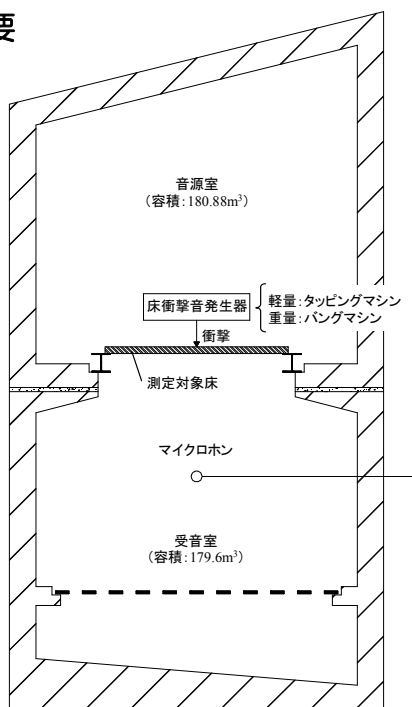


# JIS A1418「建築物の床衝撃音遮断性能の測定」実施レポート

最軽量床一時間耐火合成スラブ「Eco60」の遮音性能確認試験を実施した結果、遮音等級「LH55~60」を示しました。これは日本建築学会基準で集合住宅（マンション）の場合、2級（許容）~3級（最低限）であり、事務所・店舗・戸建住宅等では十分なレベルです。コン厚 80mm の合成スラブと ALC 版も合わせて試験しましたので参考に掲載します。

## ■試験実施概要



- (1) 試験場所  
財団法人 建材試験センター新音響棟（埼玉県草加市）
- (2) 測定項目  
重量床衝撃音  
軽量床衝撃音（コンクリート素地）  
※軽量衝撃音は仕上げによって大きく左右されるため参考に実施
- (3) 測定方法  
測定は JIS A1418(2000)に基づき、軽量床衝撃音発生器（タッピングマシン）及び重量床衝撃音発生器（バングマシン）で床（試験体）を打撃し、直下室に設置した騒音計（オクターブバンド分析器付）により音圧レベルを測定しました。
- (4) 測定結果の評価  
測定結果の評価は JIS A1419-2(2000) 付属書 1（規定）「建築物の床衝撃音遮断性能の等級曲線による評価」によりました。

## ■測定結果

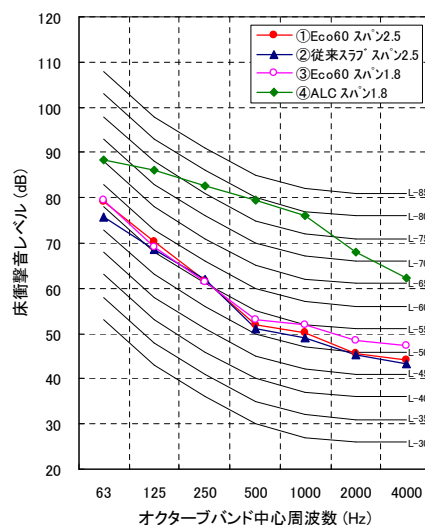
表 1 に試験結果（遮音等級）、表 2 に建築学会の性能基準を示します。Eco60（①）を従来型の合成スラブ（②）と比較すると、等級評価は 5dB 単位で行うため、1ランク差が生じていますが、測定数値はわずか 1 dB 違いとほぼ同等の結果でした。一方、重量の軽い ALC 版とはかなり差がありました。

表 1 試験結果（遮音等級） ※遮音等級は 5 単位で表現される。○ 内数値は実測値を示す。

試験体	スパン	遮音等級
① 合成スラブ EZ50-1.2 普通型 60mm (Eco60)	2.5m	L <sub>H</sub> -60 (58)
② 合成スラブ EZ50-1.2 普通型 80mm	2.5m	L <sub>H</sub> -55 (57)
③ 合成スラブ EZ50-1.2 普通型 60mm (Eco60)	1.8m	L <sub>H</sub> -55 (57)
④ ALC 版 100mm 厚	1.8m	L <sub>H</sub> -80 (80)

表 2 日本建築学会「建築物の遮音性能基準」

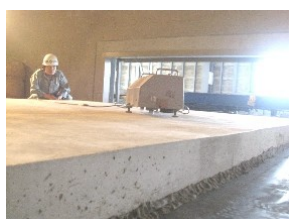
建築物	室用途	特級(特別仕様)	1級(標準)	2級(許容)	3級(最低限)
集合住宅(マンション)	居室	L-45	L-50	L-55	L-60



## ■写真



重量衝撃試験



軽量衝撃試験



試験体設置（裏面）



受信室の様子

スーパーEデッキ **Eco60**

日鉄建材株式会社